

JISA 経営セミナー(第4回)

「MUFGにおけるデジタルトランスフォーメーションへの取組」開催



平成29年3月17日、全国情報サービス産業厚生年金基金会館において、JISA 経営セミナー(第4回)「MUFGにおけるデジタルトランスフォーメーションへの取組」が開催された。出席者は123名。講師は村林 聡氏(株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 執行役専務 グループCIO)。

冒頭、JISA 横塚裕志会長は、「本講演を我々の変革につなげていきたい」と挨拶した。

村林氏は、講演の経緯を紹介した後、「オープンイノベーションに向けた取組」「継続的オープンイノベーションを支える各種システム開発の取組」「第二の創業へ」と話を進めた。

「オープンイノベーションに向けた取組」の端緒は、アイデアコンテスト「FINTECH CHALLENGE 2015」である。その後も金融サービスの利用者の視点や発想を重視し、サービスを拡充するためにベンチャーとの協働を促進し、翌年には、ハッカソンの開催を通じてシステム開発者との接点を強化した。このような経験が、起業化の手助けをするアクセラレータ・プログラムの立ち上げにつながっている。設置した拠点を中心に海外におけるイノベーション活動を積極的に行う一方で、国内には、2016年1月にイノベーション・ラボを設置し、「斬新なアイデアの発掘と具現化」を目指している。

「継続的オープンイノベーションを支える各種システム開発の取組」については、システム開発における3つの原則として「2 Way Architecture」「Low-code」「Sharing」を掲げ、UXの最大化を目標としていることを紹介した。MUFGでは、クラウドも積極的に活用し、変化に強く生産性の高いシステム開発を志向している。

「第二の創業へ」の中では、注力している主要テーマへの取組に触れつつ、IoT時代を捉えたイノベティブな新規事業への挑戦事例を紹介した。

講演後は活発な質疑が行われた。

(茂木)

